

第19期事業報告書

自平成26年4月1日

至平成27年3月31日

1. 事業概要

(1) 当期の営業状況

平成26年度の我が国経済は、「三本の矢」からなる経済政策(アベノミクス)で緩やかな回復基調が続き、日経平均株価も二万円台に迫る勢いでありましたが、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動や輸入物価の上昇などにより、物価の変動を考慮した実質賃金は20ヵ月以上連続マイナスとなっており、個人消費等の弱さがみられました。

こうした中、八尾市の指定管理者施設である近鉄山本駅東自転車駐車場の他社への移管、さらに平成14年4月から八尾市より受託していました市庁舎地下駐車場管理業務を自動車駐車場使用料条例の制定に伴い廃止するなど、業務内容に変更が生じました。一方JR八尾駅南の電磁ロック式ラックによる開設、JR八尾駅東及び同駅西自転車駐車場の防犯カメラ設置、志紀駅前及びJR久宝寺駅南自転車駐車場のLED照明取替えなど、施設の整備改修を行うとともに、各種経費の節減など、経営改善の推進と利用者サービスの向上に努めてきました。

また、八尾市をはじめ各種関係団体とも連携し、安全安心のまちづくりのため、駅周辺の「放置自転車の防止」と「自転車利用者のマナー向上」を訴える広報啓発活動にも積極的に取り組んでまいりました。

当期(第19期)の業績につきましては、営業利益は5,632万6,016円(前年度比3.6%の減)となりました。

内訳ですが、自転車駐車場収入では3億3,498万6,060円(前年度比6.3%の減)、市庁舎地下駐車場収入では1,959万4,315円(前年度比19.0%の増)となり、当期純利益金額につきましては、3,767万5,810円(前年度比0.3%の減)となっております。

引き続き業績の向上と利用者サービスの向上に努めてまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(2) 営業成績及び財産状況の推移

(単位：円)

	第19期	第18期
	自：平成26年4月1日	自：平成25年4月1日
	至：平成27年3月31日	至：平成26年3月31日
営業利益	56,326,016	58,418,778
経常利益	58,569,529	61,287,062
当期利益	37,675,810	37,775,925
一株当たり当期利益	62,793	62,959
総資産	516,026,001	511,505,436
純資産	380,023,073	343,247,263